

No. 52

2002

6月1日発行

萩の郷

発行者
下市田区
発行責任者
大屋敷 清 利
印刷
下市田・キタバヤシ印刷

新年度の抱負とめあてと



雨上がりのアイリス 2区街道にて

萩山神社の春祭りを終え、例年になく早いお花見の中で新学期の始まり、一年生のランドセルが光る。

おだやかな春暖の日差しが、梨・桃の開花を誘って高森の段丘に淡い彩りを添えて広がる。

天竜沿いの田には一面に水が満ち、下市田の丘を写しながら一斉に田植えがすすむ。

初夏の足音を確かに聞きながら、花も、虫も、そして人も動き出している。互いに力を出し、助け合いながら光りを求めて……。

本年度も、公民館の事業を通して、人の和の喜びや素晴らしさを体現していきたい。

様々な仕事に励む人々が一堂に会し、切磋琢磨しつつ持てる力を出し合って、一つの行事に立ち向う姿に言い知れぬ感動を覚える。

自ずと分担が定まり、特技を発揮して互いに讃え合うこの和やかさを大事にしていきたい。

ワラモツテタツシトナス
「以レ和為レ貴」

区民会館に高々と掲げられた書であるが、遠く先人の叡知と共に、じっくりと噛み締めてみたい。

区の情勢について

区長 大屋敷 清 利

思いであった。

三月三十・三十一日に行われた萩山神社春祭りは、例年より一足早かった満開の桜の下で、好天に恵まれ賑やかに出来たことは、関係各位のご尽力によるもので感謝申し上げます。

三月末と四月初めに行われる、保育園・小中学校の卒入園・卒入学式に、延べ八回も招待された。次代を担う子供たちの澆刺とした姿に、心洗われる思いで感激一入であった。健やかな成長を願っている。

常会長・委員合同会議は、区民総会に代わるものとして、三月二十一日には十三年度の事業報告とささやか

前号以降の諸行事等所感を交えて報告いたします。

三月五日、第十三回「萩の里ふれあい広場」が区民会館において開催された。

毎年、このことながら和やかな雰囲気、心暖まる

な慰労の会を、四月二十一日には、新常会長を迎え、新年度の事業計画とこれまたささやかに発足の会を行った。委員は、区の執行機関として任期二年の後半をお願いする。各位のご尽力によって区の運営が順調になされていることに感謝したい。

五月十一日、松岡城址愛護会（会長 北沢富夫氏）では、松源寺入口北側の五の堀及び斜面へ、役員と四区育成会親子で、植樹を行った。城址の保全と景観を保つように、また愛護の気持ちも育てようと思っている。町の援助をいただきながら区としても応援をしていきたい。

五月十五日、飯田工業高校定時制の生徒さんから、下市田区と座光寺自治会へ、手作りのジョレンが寄贈された。日頃近隣の皆さんには大変お世話になっているという事で贈られたものである。昨年五丁、今年上丁、区民会館の備品として保管しておくのでご利用を。巾細で側溝さらいに便利そう。

区民広場の物置きハウスへ電源ボックスを常設した。区民広場で簡便に使えるのでご利用を。使用時は、事前にお申し込みを。日赤奉仕団下市田分団の役員が退団記念にポットを三本寄贈された。感謝しながら愛用したい。

委員会活動報告

水利委員長 小島 孝彦

主たる事業、作業は次の通りです。

四月

- ・新旧委員引継ぎ会
- ・事業計画及び作業人員出動計画策定
- ・下市田区水利、取水口、各水系分水路の巡回確認作業
- ・区内一斉井ざらい、清掃

六月

- ・町内一斉河川清掃作業の協力推進
- ・梅雨期増水対策による堤水位減水管理の実施
- ・七月
- ・区有堤土手草刈り作業実施

五月

作業の実施
区計画工事
箇所、問題箇所実施確認

八月～三月

地域内用排水路改修工事
立合い、協力

通年

- ・各用排水路管理
- ・住宅、アパート着工に伴う雨排水指導及び認可
- ・用排水路緊急工事対策の実施

平成14年度 下市田支館事業計画

月日(曜)	事業名	内容
6 / 1 (土)	区報・館報52号発行	下市田選出町議の議会報告
6 / 15 (土)	地元町会議員との懇談会	区民の要望など
7 / 27 (土)	萩の里まつり	盆踊り・花火 演技・演奏 (保育園児・和太鼓など) お楽しみコーナー
10 / 19 (土) ~ 20 (日)	文化祭り・敬老会	作品展示・舞台発表 敬老会 ・今田人形観賞を予定 下市田区内史跡めぐり
11 / 1 (金)	ぐるりウォーキング	
11 / 16 (土)	区報・館報53号発行	
11 / 17 (日)	町ふるさと祭り	おしるこ無料サービス
平成15年 2 / 1 (土)	テント村出店	
3 / 29 (土) ~ 30 (日)	区報・館報54号発行	
随時	萩山神社春祭り夕祭	芸能発表会(獅子曳き)短冊(5)
	萩山神社春祭り本祭	写真・ビデオ撮影 子供連 新刊購入・貸出し
	図書管理	

平成14年度 各分館コミュニティ事業計画

区	月日(曜)	事業名	内容
1区	7 / 6 (土)	1区ふれあい広場	・中央公園 夏祭り
	9 / 29 (日)	1区整ススポーツ大会 (グランドゴルフ)	・区民広場 —— 午前中 ・区民会館 —— 午後
2区	11 / 23 (土) ~ 24 (日)	1区芸能祭 1区展覧会	・ふれあい会館
3区	4 / 7 (日)	じゃがいも種まき	・朝霧サロン ・竹トンボ飛ばし
	6 / 9 (日)	お年寄りとお子さんのふれあい会	・親水公園にて
	7 / 13 (土)	マレットゴルフ大会	・子供達と植付け～収穫迄
	7 / 20 (土)	じゃがいも掘り	—— 食事を設ける
	10 / 6 (日)	納涼祭(予定) 運動会	
4区	5 / 26 (日)	ふれあいグランドゴルフ大会	・スポーツ
	6 / 22 (土)	お楽しみ演芸会	・演芸、カラオケ発表
	10 / 13 (日)	生涯学習活動(ふれあい学習) 力行会ふれあい運動会	・軽スポーツ大会他 ・各常会対抗運動会
5区	5 / 11 (日)	松岡城植林(秋にも)	・ミニ運動会 ・演芸 ・模擬店
	7 / 7 (日)	4区ふれあい広場	区民会館全館、グランド使用
6区	9 / 15 (日)	スポーツ大会 (南小体育館・グランド)	・グランドゴルフ ・ソフトバレー
	10 / 6 (日)	アパート及び独立世帯との交流会	・チャンスボール ・12年目
7区	5 / 11 (土)	高寿会との交流会	・自治会組織改変により隣組対抗に変更
	5 / 26 (日)	隣組対抗ベタンク大会	・学校五日制への対応
	7 / 20 (土)	飯盒炊さん	・お店屋さん
	8 / 3 (土)	納涼祭	・育成会、婦人団体などと協調
	8 / 15 (木)	盆踊り大会	・大煙火大会、灯籠流し
	16 (金)		・子供提灯行列、子供神輿
	18 (日)	夏祭り	・正月飾り講習会
8区	12 / 21 (土)	生涯学習	

再選挙選出議員の挨拶

下市田5区 福沢嘉言



皆様方のご支援により議会に送り込んで頂き早四ヶ月が経ちました。この間いろいろと経験・勉強させていただき、私なりに少しずつ町の現状が分かってきた気がします。

三月の定例議会では私は三点について質問しました。始めに合併問題についてであります。国全体の財政が

厳しい折、地方交付税が削減され今後も更に減額が予想されます。従来どおりの町政運営は難しくなるが、我が町としてはどのようなことをしていくのか、相手があることではあるが合併した場合、しない場合の将来の町のランドデザインを画き町民に判断材料を提供すべきでないか。二点目は有線放送設備の更改で新たにITを活用した町の仕組みづくりが始まるうとしてい

るが、町の活性化、住民サービスの向上、町政業務の効率化等にどのような活用メニューを考えているのか、また誰もが使えるような利用方法の勉強会も必要ではないか。これらは設備完成時にはサ

ビス開始・利用開始ができるよう今から同時並行で取り組む必要があるのではないかと。三点目は蘭植物園の管理は、町の責任議会のチェックが直接及ばず管理・運営・経営努力が見えにくくなる町の振興公社に委託するのではなく町の特別会計で実施し、住民にも経営内容が判るよう運営すべきではないか、であります。

私は今年度の町の重要課題は将来の高森町がどうなるのか方向付けをする町村合併問題への対応と、革命とまで言われたITをどのように活用し町の仕組みづくりを行うかだと考えます。皆様のご意見をお聞きするとともに、自らも勉強し取り組んでいきたいと思っております。のよろしくお願いいたします。

なお私のホームページは <http://www.af.wakwak.com/~yoshinobu176>

十三年度決算
監査委員所見

北原昌己

去る四月二十六日、下市田区一般・特別会計・公民館・萩山神社の年度末会計監査を行いました。収入に關して細部にわたり覽し、個人・法人・独立世帯と補助簿が完備されご苦労がうかがわれ、公民館・萩山神社会計も少ない予算の中、効率的な運営を感じました。下市田区には昭和五十九年出砂原の土地売却により下市田地域振興基金として積立てられています。高金利時代には多額の利子が入り区民会館の建設、多目的広場の取得、造成などに区民の金銭的負担が繰入金金の積立てで出来た事を思うと、現在の金融状況の不況が、区の財政にいかに厳しいかと思ひます。区の特別会計の中で一千万を越える金額、地域振興基金に於いても、今、金融業界でのペイオフ対策の検討に心すべきだと思ひます。

尚、区有林・土地管理は昨年見回りを行い、台帳・契約書の閲覧は計画書に基づいて行う予定です。

平成13年度 下市田区一般会計決算報告書

(自平成13年4月1日～至平成14年3月31日)

収入金計 50,271,060円 支出金計 42,780,678円 差引残高 7,490,382円

I. 【収入金の部】

項 目	予算現額	決算収入額	比較(予算・決算)
1. 区 費	15,020,000	15,163,090	+ 143,090
2. 繰 入 金	1,396,000	1,294,377	- 101,623
3. 町 支 出 金	14,050,000	16,910,898	+ 2,860,898
4. 財 産 収 入	1,545,000	1,709,219	+ 164,219
5. 寄 付 金	550,000	580,212	+ 30,212
6. 消 防 義 務 金	2,260,000	2,260,000	0
7. 諸 収 入 金	1,700,000	2,044,598	+ 344,598
8. 前 期 繰 越 金	10,308,666	10,308,666	0
収 入 合 計	46,829,666	50,271,060	+ 3,441,394

II. 【支出金の部】

(単位 円)

項 目	予算現額	決算支出額	比較(予算・決算)
1. 総 務 費	16,605,000	16,421,736	- 183,264
2. 環 境 衛 生 費	1,123,000	933,408	- 189,592
3. 林 務 費	870,000	620,270	- 249,730
4. 土 木 費	11,920,000	11,673,396	- 246,604
5. 水 利 費	3,270,000	4,786,052	+ 1,516,052
6. 消 防 費	2,260,000	2,080,816	- 179,184
7. 公 民 館 費	3,010,000	3,010,000	0
8. 予 備 費	7,771,666	3,255,000	- 4,516,666
支 出 合 計	46,829,666	42,780,678	- 4,048,988

平成13年度 高森町公民館下市田支館決算報告書

(自平成13年4月1日～至平成14年3月31日)

決算収入額 5,154,445円 決算支出額 4,407,304円 残 高 747,141円 (JAみなみ信州預金 747,141円)

1. 収入の部

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
繰 越 金	673,050	673,050	0
繰 入 金	3,010,000	3,010,000	0
補 助 金	1,448,200	1,448,200	0
雑 収 入	21,000	23,195	2,195
合 計	5,152,250	5,154,445	2,195

2. 支出の部

▲印減(単位 円)

科 目	予 算 額	決 算 額	増 減
総 務 費	3,175,000	2,901,263	▲ 273,737
事 業 費	1,680,000	1,456,502	▲ 223,498
広 報 費	20,000	2,723	▲ 17,277
予 備 費	277,250	46,816	▲ 230,434
合 計	5,152,250	4,407,304	▲ 744,946



萩の里ふれあい広場

H14年3月5日

春祭りのビデオも上映して賑やかに

民生児童委員

二区 蜂谷睦雄

三月五日 恒例の「萩の里ふれあい広場」第十三回が、下市田区・町社協の共催で、区民会館を会場に出席招待者百三十余名をお迎えして約三時間、和やかな雰囲気の中で開催されました。下市田保育園児の可愛らしい発表に顔をほころばせ、回顧「萩の里ふれあい広場」第一の心を奪われ、力強い太鼓の共演の音と技には大きな拍手を送り、そして池野悦子さんの軽妙な言葉の投げ掛け・舞踊・歌唱にはいついとお昼は心の込められた手作り料理に舌つづみをうちながら四方山話に花を咲かせた一時でありました。こうした行事の陰に病のため床に臥せられておられる方々がおられることとに一抔の淋しさを感じると共に、快癒の一日も早からんことを祈念し、来年のご参加を是非と、ご期待申し上げます。

最後に、社協会長吉川町長様、お手伝い戴いた関係の皆様方に深くお礼申し上げます。有難う御座いました。

招待者

六区 中谷いと子

今年も、ふれあい広場への招待有難うございました。年齢と共に月日のたつのを早く思う様になり、あっという間に一年が過ぎました。物資不足の戦中戦後に子育てをして、食べられる物は何でも食卓へのせました。今、物余り使い捨ての時代に生きて

いて、「勿体ない」と言っているうちに、伸び行く若芽の様な保育園児の、元気な可愛らしい発表に、拍手しながら、この児達が大人になった時、明るい平和な日本でありまう様祈りました。ビデオで春祭りの獅子舞を出発からお宮まで、浦安の舞の奉納も、しっかり観賞させて頂きました。保存会の皆様御苦勞様でした。伝統行事を後々まで伝えて行って下さい。アトラクションの太鼓感謝感謝。

萩の里ふれあい広場



下市田保育園児も大勢で参加して

平成14年度 高森町公民館下市田支館 歳入歳出予算書

(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)
平成14年3月24日可決

歳入の部		歳出の部	
科 目	本年度予算額	科 目	本年度予算額
繰越金	600	総務費	2,100
繰入金	3,010	事業費	1,700
補助金	320	広報費 (区報・諸費)	20
雑収入	1	予備費	111
合 計	3,931	合 計	3,931

平成14年度 下市田区一般会計 歳入歳出予算書

(自平成14年4月1日～至平成15年3月31日)
平成14年3月24日可決

【1. 収入の部】		【2. 支出の部】	
区 分	本年度予算額	区 分	本年度予算額
1. 区 費	15,000	1. 総 務 費	12,765
2. 繰 入 金	1,350	2. 環境衛生費	1,200
3. 町支出金	5,000	3. 林 務 費	1,000
4. 財産収入	1,550	4. 土 木 費	6,500
5. 寄付金	550	5. 水 利 費	2,660
6. 消防義務金	2,300	6. 消 防 費	2,200
7. 諸収入金	500	7. 公 民 館 費	3,010
8. 前期繰越金	6,500	8. 予 備 費	3,415
合 計	32,750	合 計	32,750

桜花爛漫の春祭り

晴天に恵まれ 大勢の人出で賑わう

3月30・31日

南信地区のトップを切っ
て萩山神社の春の祭礼が執
り行われました。例年です
と桜には少し早い時期でし
たが、今年は暖冬で気候が
一週間位早く、その為か満
開の桜の下での祭りとなり、
かつて四月三日・四日に行
われていた頃と同じ様に桜
の花の下での獅子舞は、大
勢の見物人に囲まれた中で
の奉納となり、賑やかで華
やかな祭りとなりました。
祭りの中心となるのは、
なんといっても獅子舞を演

じる萩山芸能
保存会の獅子
部・囃子部の
皆さんと、獅
子曳きの子供
さんですが、
三月十四日の
稽古始めから
三月二十九日
の稽古納めま
での、熱心な
取組みと保存
会の幹事長を
始めとする幹
事会の皆様の
大変な努力で、
三月三十日の
宵祭り（荒神
社より安養寺
まで）の獅子
舞道中で春祭りが始まりま
した。

三月三十一日の本祭りは、
出砂原のお祭り広場とパー
スの広場での獅子舞の公開
を行い、午後より安養寺か
ら萩山神社までまさに花の
中での獅子舞と囃子の道中
を行い、無事萩山神社に奉
納、今年度の春祭りを終え
る事が出来ました。

各会場とも大勢の見物人
で賑わい、三人の獅子曳き
の子供さんの華やかな姿と
演技に見惚れ、祭りを楽し
んでいました。



神社に奉納する浦安の舞姫の皆さん

上沼美樹さん 一区
田中真理さん 二区
三浦由貴さん 三区
林奈津美さん 四区
塩沢美江さん 五区
岩井美佳さん 六区



▲荒神社の石段を行く行列

満開の桜の下を勇壮に舞う獅子曳きの子等▶

安養寺へ挨拶する獅子曳きの皆さん

桜丸 榊原崇之くん 六区
松王 林拓磨くん 五区
梅王 宮竹達也くん 三区

湯沢操 一
保存会運営委員長

下市田のみなさん

こんにちは

六区出身 伊奈川美江子

(神奈川県在住)

出砂原出身の旧姓中村美江子と申します。主人は五区出身で同級生でした。

一男二女に恵まれ、現在はそれぞれ独立しています。

何度かの引っ越しのあと、三十年ほど前に横浜市金沢区の京浜急行「金沢文庫」駅近くに現在の住宅を購入しました。

子供が大きくなるにつれ古くなる家。私の退職を機に、一昨年にはリフォームも行いました。長野オリンピック記念マラソンを二回も完走した主人には、バリアフリーはまだ遠い先かも知れませんが、お風呂とトイレには気を使いました。

原発関係の仕事で、東北

方面への転勤が多かった主人は、嘱託となった現在も青森県六カ所村に単身赴任中です。

山好きの主人の影響で、山の会にも所属し三月・四月は毎週のように、山菜採りを兼ねて近くの山に登っていました。

あまり手を入れていない庭ですが、勤められ昨年「たまねぎ」を植えてみました。先日小さいながら収穫してみました。気のせいかな、自分がかけたものはおいしく感じました。

子育て中に取得した保育士の資格を活用し再就職した娘が、近くに越して来ましたので、孫の世話が大変になってきた今日この頃です。



娘の綾、波と孫の飛羽・沙那

思いやること

1区 工藤直枝

「贈る言葉」の歌詩の中に、人は悲しみが多い程人には優しくできる。というフレーズがあった。そのとおり人間の優しさや思いやりは、自身の体験や環境の中から醸成されるものだと思ふのである。子供の頃近所に私より五歳上の発達遅滞の子供がいた。

その子はいつもいじめっ子に追っかけられていた。私も傍観者だったが、ある日私がいじめられていた時に私をおぶってその子は逃げてくれた。その子の背中にしがみつくと私は、その子が後ろに回した手のこぶしにぶつかる自分のお尻が痛かったことをよく覚えている。その時から私は、その子が追っかけられていた。悲しくなっていた。しかし私は助けてやれ

なかった。今もこのことはよく思い出す出来事である。高校の時私は美術クラブの一員として、紙芝居を持ってよく養護学校の寮を訪問した。重い補装具を着けた子供達を見て、同じ人間なのになぜなんだろうと深く



衝撃を受けたことが、現在の自分の仕事につながっている。

この町にお世話になって十七年。自分にも大変な宿命が待っていたが、人の心の温情と思いやりの大切さを頂いた。貧しい事が良い訳はないけれど、その中から見えて来るものは沢山ある。思いやることはそのひとつである。悲しいニュースの多い昨今、この小さな言葉を真剣に考えたら、どれだけの人の命や心が救えるかと思うと、心が熱くなる。

随想

三区 杉田洋一

突然、「お父さん有線ですよ」原稿依頼でした。なんとなく受けてしまったのですが、さあ大変。日頃、仕事の事ばかり考えている私です。しかし、このごろ、はたしてこれでいいのか、と思う事が時々あります。

現在五十二歳ですが、三代、四十代の前半は、夜、ほとんど家にいなく町民体育館・公民館・テニスコー

突然、「お父さん有線ですよ」原稿依頼でした。なんとなく受けてしまったのですが、さあ大変。日頃、仕事の事ばかり考えている私です。しかし、このごろ、はたしてこれでいいのか、と思う事が時々あります。

現在五十二歳ですが、三代、四十代の前半は、夜、ほとんど家にいなく町民体育館・公民館・テニスコー

突然、「お父さん有線ですよ」原稿依頼でした。なんとなく受けてしまったのですが、さあ大変。日頃、仕事の事ばかり考えている私です。しかし、このごろ、はたしてこれでいいのか、と思う事が時々あります。



獅子曳きの子供の着付け中

中学生三年生の今

中三 福島 理沙 (二区)

二〇〇二年四月。私は中学三年生になりました。修学旅行だと思っています。とても楽しかったのですが、残念というか、後悔というか、ショックだったことがあります。それは、数日前に配られた一枚の写真に原因があります。その写真は、法隆寺の前で撮った、クラス集合写真なのですが、その中で私は目をつぶってしまっているのです。「なんだ、そんな事」と思えばそうかもしれませんが、その中で、やはり一番は



生で一枚の思い出となるその写真で目をつぶっているのは、ショックでした。そしてもう一つ、私の頭を悩ませていることは、背が低いことです。身長が伸びないのです。あと五センチです。

けん道

小三 熊谷 健人 (六区)

ぼくは、スポーツ少年だんで、けん道を、やっていきます。

けん道をやっていてたのしいことは、おなじくクラス、ともだちといっしょにできることが楽しいです。これからは、めんとかを強く、うっていききたいです。

うつのや、いろいろが楽しいから、はじめました。二年生のころからはじめました。れんしゅうのばしは、ほとんどが、下市田くみんかいかんでやっています。



研修旅行記

伊勢志摩への旅

平成十三年度、下市田編に……。行き来のバスの中で集委員研修旅行が、去る一月二十七日、日帰りにて、伊勢志摩への旅を実施いたしました。旅行前夜、降り積もる雪に、心を痛めるのは、私ばかりではなかったのではなからうかと思われ

ます。南小学校・市田駅・区民会館より、各々乗車でき、総勢十四名の参加を得て実施して来ました。心配をよそに、阿智サー

ビスエリアを過ぎると、雪も無くバスは一路伊勢へと向かって参りました。伊勢神宮に着く頃は、太陽は燦々と早春の陽が差し込み、コート



を拭い去る程でした。お正月が故、神宮において、人、人、人。そして委員においては家族の健康と幸せを祈り、又次年度の益々の活躍を祈願して参りました。

夫婦岩に於ては潮風吹きて途中で引き返す人。又、道中、お土産を手いっぱい

好評な『朝霧サロン』

二区部落長 坂牧康弘

七月には二区納涼祭を、飲食の

下市田二区は、現在百二十戸と、下市田の中では小部落ですが、国道を中心とした商業地域もあり、昨年は下市田局がオーブンし、地形の高低差もあまりなく、まとまった集落です。

歴史的にも、二区全般に天竜河原を除き、古墳・遺跡の多い所で、銘木も柊・榎などの大木もあります。

地域の紹介

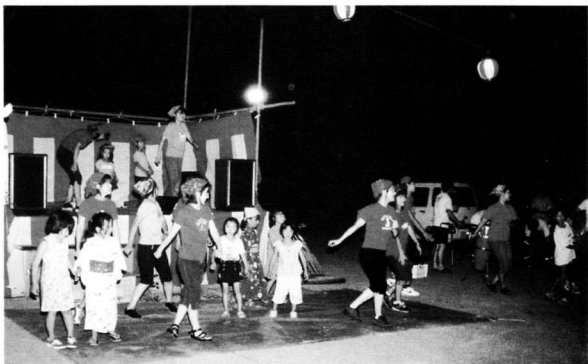
二区全般に天竜河原を除き、古

元旦には、部落全体の新年会を盛大に毎年行っております。

お年寄りの人達（七十歳以上）には、毎月行っている「朝霧サロン」、五十人前後の人が出席し、ボランティアで講師をお願いして、毎月新しいテーマでの話を聞き、話題も豊富。その都度音楽で、童謡など楽しんでいます。

その他、地域農政で牛牧上段の畑を借りて、牛牧大根作りを三年続けて大変に好評。農家・非農家の区別なく、二区の三分の一の戸数が参加して、おいしい大根を食べております。

今後も、皆様方の御支援をいただき、活力ある活動が出来ますよう、御協力を願います。



グループ紹介

たかもりカヌークラブ

五区 松崎 愉

出しています。昨年度は、

「たかもりカヌークラブ」は、高森町のカヌー教室の卒業生が集うサークルで、今年で十三年

目です。

私自身も第一回目の生徒です。クラブ創設当時は、全員が初心者で、とにかく川を下ることが楽しくて、毎回転覆（沈）といえます。

重なるにつれ、クラブ員の技術も少しずつ向上し、ナショナルチームで海外遠征したり、国体の競技予選の県代表になるメンバーも輩

出しています。また、秋合宿として、昨年は長良川へ行きました。冬合宿と称して毎年泊まりのスキーもしています。

クラブの年齢構成ですが、小学生から五十歳代まで、幅広い年齢層で、通年で楽しく遊んでいます。

近年はまるで暴れ馬に乗るような楽しみ方をする「ロデオ」も流行ですが、のんびり川下りをしながら、魚や鳥を間近に感じ季節感を満喫するのも楽しいです。

カヌーは年齢・性別を問わず楽しめるスポーツです。皆さんも体験してみませんか。



芝生の広場に

電源ボックスができました

下市田区民会館の前の芝生の広場は、今迄は萩の里祭りの時にだけ、電源を仮設して音響や照明などに使っていました。年間を通していつでも使えるように、芝生の広場の隅にある物置のところに、六〇アンペア（特別な場合は一〇〇アンペアまで）使用できる電源ボックスを設置しました。

設置費は二〇五、〇〇〇円かかりましたが、町から四分の三の補助金があり、残りの一〇〇、〇〇〇円は、区の負担は約五〇、〇〇〇円で、この三月完成することができました。

この電源の使用につきましては、萩の里祭りなど区や公民館行事を始め、部落や団体等での使用、又緊急に必要事態が生じた場合は、副区長に連絡をいただければいつでも利用することが出来ます。

電氣を使った場合の使用料については未だ具体的な規定等出来ておりませんが、原則的には使用電力分の料金をいただくことになろうかと考えております。

有効にご利用いただくことを期しております。

編集後記

本紙二ページ掲載の、支館事業計画にそって、新年度事業が始まりました。

近年、下市田でも集合住宅等の新築が進み、新しい区民のお仲間が増えていきます。そうした方々も共に、

公民館事業に参加していただく事により、地域住民とのコミュニケーションの場としての、役割を果たしていかれたらと考えています。

伝統文化の継承、環境整備等に、下市田区に居住する総べての人々が関わりながら、地域づくりを進めることが大切かと思ひます。

